





僕は大雁功が好きだ。

この功法を習い始めてから**20年**が過ぎた。

文化センター等で皆さんに伝えているが、毎年毎年、連功する度に新たな発見がある。

体の動かし方一つをとっても年を追う度に軟らかくなってきているように感じる。

一つの形を覚えた後に、足腰から上半身に気（波動）が伝わるように、胸の中の気が指先まで伝わるように動かすには、どのように体を動かしていくのが気功としての大雁功になるのかを考えながら工夫していく。

その深まりによって、動きが微妙に違ってくる。

だから、単に大雁功の形としての動きを伝えるだけではなく、一つ一つの動きの中で身に付けてきたこと、発見してきた動きのコツなども文章にして伝えていかねばならないと、最近特に強く感じている。

大雁功研究ということになるのだろうか。

それが僕の課題なのかも知れない。



京都や奈良のお寺に奉納するために造って、持って行かれずに、和気の治療院に飾ってあるお地藏さんが沢山あります。

まだ新しく造っているのので、貯まるばかりです。

ですから、このお地藏さんたちを気功教室の仲間に差し上げることにしました。

全員の分はないので、一番古くからある熱田の金曜教室、中日文化センター、そして熱田の月曜教室の順に持っていくことにしましょう。

みなさんの手に届き、少しでも心の安らぎになると嬉しい気がします。



比叡山は、やはり期待を裏切らなかった。

今回の比叡山行きに参加した気功の仲間4人は、京都出町柳駅から叡山電鉄の八瀬比叡山口に行き、ケーブルとロープウェイを乗り継いで山頂駅に降り立った。

僕たちは浄土院を目指して山道を歩きだした。

これが今日の歩きのスタートだった。

約20分で奥比叡ドライブウェイに架かる小さな橋に出た。

橋を渡った所が山王院だ。

山王院から伝教大師御廟のある浄土院への下りの石段が続く参道を降りていった。

眼下に浄土院が見えてきた。(写真)

浄土院の境内に入る。

比叡山一の聖地の空気は違う。

そして院の裏手に廻ると、そこが御廟。

左手の阿弥陀堂と御廟、浄土院とに囲まれたこの空間かは、清浄な気で満たされていた。

心地よかった。

浄土院を出て、西塔に向かう。

拝観受付の手前から道を逸れて椿堂に降りていく。

林の中にひっそり佇む椿堂の姿には気品を感じた。

椿堂を登ると、あの有名な朱塗りの担い堂が苔の緑と林立する老杉の向こうに姿を現す。

カメラグループの撮影会か沢山の老カメラマンがいた。

右に法華堂、左に常行堂をシンメトリックに建て、その間に人がくぐれるほどの高さで廊下を造り、その二つのお堂を、ちょうど物売りが天秤棒を担ぐように弁慶が担ったという伝説から弁慶の担い堂と呼ばれている。

担い堂の廊下の下をくぐると西塔の中堂である釈迦堂に降りていく長い石段が続く。

釈迦堂は比叡山の最古の建物だそうで、その重量感には圧倒される。

釈迦堂の堂内に入ると赤い柱だけが目立つ飾りっ気のない空間。

何もない故に落ち着く。

堂内から外を見ると、いま下ってきた石段が見える。

お釈迦様は僕たちが堂内に入り、手を合わせてお参りする以前から、既に僕たちの普段の態度をご覧になっていたのだと、ハッとする。

釈迦堂を出て、裏山の中にある「みろくの石仏」に向かった。

笹が覆い茂り道を塞いでいて、誰一人として歩いている人はいなかったが、みろくの石仏は良い気の間を醸し出していた。

石仏の横に名古屋から持っていった陶器のお地藏さん置いた。

以前に一体置いていたのだが、どうしてももう一体置きたかったのだ。

石仏の前に腰を下ろしておにぎりをいただいた。

みろくの石仏から釈迦堂に戻る。

予定では、再び石段を登って担い堂に行き、西塔バス停からバスで東塔の根本中堂に行くことにしていた。

しかし、予定は大きく変わった。



釈迦堂に戻った僕たちは、1時間くらいなら歩けるといふみんなの合意の下に、4 kmほど先にある横川への山道を歩き始めた。

山の中の歩きは気持ちがいい。

約30分ほどで中間地点の玉体杉という所に着いて休憩を取る。

玉体杉から見える京都市内の見晴らしも良かった。

千日回峰行の行者は、ここから御所に向かって加持祈禱を行なうとか。

残り半分の道は案外早く感じた。

横川まで来て境内に入らない訳にはいかない。

ここで初めて拝観料を払う。

緑の木々の間に突然姿を現す横川中堂の建物は美しい。(写真)

横川中堂に入り、少し休憩を兼ねてお参りする。

横川中堂から真っ直ぐ行った突き当たりにある鐘を衝き、元三大師堂へ。

ここにはおみくじの元祖と言われるものがあり、仲間が受けていた。

観音経の読経のあと、お坊さんがくじを引いてくれ、その内容を説明してくれるというおみく

じだ。

仲間は大吉だった。

横川の駐車場に戻り、シャトルバスに乗って、山頂駅近くのバス終点まで帰り、あとはロープウェイとケーブル、叡山電車を乗り継いで出町柳に戻った。

僕のお薦めスポットを網羅した今回の歩きは実に楽しい歩きであった。

良い気を受けての歩きは、やはり嬉しいものだった。



気功教室の仲間みなさんにお地藏さんを差し上げることにしたのはいいんだけど、やはり、数が足りなかった。

で、今日の陶芸では、お地藏さんを造ることに専念した。

朝**10**時から昼食をはさんで昼の3時頃まで、お地藏さんを**19**体造った。

一日で、こんなに沢山のお地藏さんを造ったのは初めてだ。

それでも中日文化センターの1教室分にしかない。

8月の陶芸は休みだから、次は9月の第3日曜日までは造れない。

生徒の全員に差し上げるには、年内一杯かかるかも知れないね。

僕はリピーター...2009年07月28日

気の良い場所、癒されるスポットに、僕は何度も足を運ぶ。

出かけた先で、あちこち探索しながらも、良い場所を見つけると、必ずリピートする。

ただし、旅行雑誌などに載っているグルメや宿、温泉などには殆ど関心がない。

僕の評価基準は、人の少ない所、力を抜いてぼんやり出来る所、気の良い所（空気が綺麗で体の中から気持ちの良い所）、写真に撮って絵になる所...と言ったところだろうか。

もう何度も行ったことがある所は、そして、今でも行きたい所は、京都知恩院法然上人御廟拝殿、洛北円通寺、嵐山千光寺、嵯峨野二尊院、洛南東福寺塔頭フン蛇院、比叡山浄土院、奈良桜井大神神社、室生寺、飛鳥甘樫丘、三重伊勢神宮月夜見宮、風日祈宮、荒祭宮、滝原宮、滋賀石山寺、日吉大社、奈良東大寺二月堂、斑鳩法隆寺、法輪寺、春日大社、西の京薬師寺、唐招提寺、高野山根本大塔、もうキリがないくらいです。

そしてもう一度行ってみたいのが沖縄の石垣島や八重山諸島。

あ～、もっともっと時間が欲しいよー！

松原泰道老師が亡くなられた！...2009年07月30日(木)

昨日、僕の尊敬する松原泰道老師が亡くなられた。
百一歳だった。

南無の会の会長をなさっていた老師からは、気功の勉強を深める上で沢山のことを学ばせて頂いた。

僕は40才を過ぎるまでは、宗教などというものには何の関心も持ってはいなかった。
形式的な葬式仏教には何の興味も持ってはいなかった。
死後の世界や霊などというものにも関心はなかった。

そこに南無の会の辻説法集のカセットテープのダイレクトメールが届いた。

宗教、特に仏教者は、人はどう生きるのかを説いて歩かねばならない。
悩み、迷っている人たちの声を聞き、歩くべき道を指し示さなければならない。
それが仏教者のなすべき任務であり、具体的な活動が辻説法で。

現代では、それは喫茶店法話であると、本人は臨済宗であるにもかかわらず、浄土宗、浄土真宗、日蓮宗、曹洞宗、真言宗、天台宗などの宗派を越え、時にはキリスト教や仏教といった宗教を越え、僕たち庶民大衆に生き方を説く宗教者の集まりとしての南無の会を創設された。

そして、全国各地で講演をされ、沢山の著書が出版され、百歳を越えられても現役であられたのだ。

老師のおかげで僕は釈尊を知り、般若心経を知った。

この世を離れた世界に神や霊、創造主を求めず、従ってそういうものにすがらず、頼らず、自らを光とし、自らを依り処としていく生き方は、本当の意味で釈尊の、従って仏教の生き方であり、それを教えて下さったのが松原泰道老師だったのだ。

気功から神秘性を取り除いていく作業、気と霊、もののけとを区別していく作業は、気功界においても大切な作業なのだと感じている。

松原泰道老師の伝えたかったことをよく噛みしめ、これからの人生を歩んでいきたいと思う。

先生、ありがとうございました。

安らかにお眠り下さい。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

緊急入院...2009年08月07日

今日、緊急入院して、緊急手術です。

水曜日の午後、中日文化センターの帰り、地下鉄の構内で、突然目の前が赤黒くなり見えなくなってしまい、夕方、近くの眼科に行ったら紹介状を渡され、翌日、日赤で検査の結果、緑内障の発作で、放って置くと失明するとのことで手術することになった訳です。

月曜日に退院の予定です。

退院したら、また書きますね。

このままかも知れない...2009年08月28日

眼の手術を受けてから三週間になるけれど、目の前にもやがかかったままで、元のようには見えてこない。

緑内障は一度発作が起きると視野が狭くなり、やがて失明するという。

僕もかなり視野が狭くなり、眼の周りはぼやけて見えない。

一生懸命に見ようとするのでかなり疲れる。

このまま慣れていくしかないのかも知れない。

治らないんだって...2009年09月17日

先日、日赤から元の眼科に戻りました。

目の前のかすみが取れないので、「かすんだのは治りますか？」と尋ねてみると、「緑内障で一度死んだ神経は戻らないよ。」と言われました。

でも、日によって、見えない日と見える日があるので、見える日が沢山できるようにしなければなりません。

自分で治療しないとね。

ゴジラ...2009年10月08日

ゴジラと言っても松井君のことではありません。
いま、テレビのCMでしているDVDのゴジラの話です。

買っちゃいました。
そして見ました。

そして初めて知りました。
ゴジラが反核平和を願う映画であったことを。

ゴジラは水爆実験の結果、海底で暮らしていたジュラ紀から白亜紀にかけて生きていた生物が、
その生活環境を奪われて日本近海に現れてきたもの。

水爆実験の申し子だったのです。

町と人間を破壊尽くすゴジラを特殊な薬品？兵器？で殺した後、生物学者が、こんなことをつぶ
やきます。

ゴジラは一頭ではない。水爆実験を繰り返す限り、世界のどこかでゴジラは再び現れるだろう
...と。

こんな視点で怪獣映画を観たことはなかったので、新鮮な感じがしました。

みなさまもご覧あれ！

ユニクロへ...2009年10月11日

今日はユニクロへ買い物に行きました。

今、着る服、ちょっと羽織る上着がないのでね。

濃い茶色の素敵な上着があったんだけど、Lしかなくてね。

僕は肩幅が広いのでXLじゃないと駄目でね。

店員さんに在庫も見てもらったんだけど無くてね。

仕方なく白っぽいものを買いました。

秋っぽいというか冬っぽいというか、少し厚めのパンツも欲しかったんだけどね、やはりジーパンが好きなので、買うのをやめました。

一人であれこれ見て回るのも苦ではなくなったというか、かなり楽しくなってきましたよ。



朝、喫茶店に入った。

隣に二人の男性が座っていた。

二人とも七十を越えるお年寄りであった。

「最近の年寄りは年寄りに見えんなー。

なんでかわかるか？

それはよー、（語尾によーを付けるのは名古屋のおじさんたちの話し方）年取ってもジーパンはくだろうー。昔はよー、じじいになってジーパンなんてはかんかっただろうー。ジーパンはくで、年寄りに見えんのだわ。」

ギクッ！

それって、僕のこと？

この年になってもジーパンしかはかないんだからね。

そう言えば、三十代の頃に先輩から言われたことがある。

和気さん、三十代はまだいいけど、四十代になったらジーパンやめなあかんで。

普通のズボンはかんと、貫禄なくなるからな。

確かに、僕は貫禄ないなー。

と言いながらもジーパンをはき続ける僕であった。

姉が来ました...2009年10月15日

今日、滋賀県に住む姉がやってきた。

僕が眼の手術をして、余り見えなくなったのを心配して来てくれたのだ。

僕の空き時間が余りないので、今日まで待ってもらっていたのだ。

名古屋駅で待ち合わせし、駅前の豊田ビルの四階でお昼をいただき、駅前の喫茶店でコーヒーを飲んだ。

お土産に栗きんとんを持ってきてくれたのだが、娘一家の分もある。

賞味期限が土曜日なので、今日中に渡そうと、娘の住んでいる近くの熱田神宮まで足を延ばした。

熱田さんは1900年祭をしていて、この秋は人出が多いが、今日はさほどでもなかった。

本殿に参拝し、境内にある茶屋へ。

抹茶を飲みながら娘の来るのを待った。

子供たちの話をしたり、親戚などの話をしたり、久しぶりに世間話をした気がする。

のんびりと出来たが、僕的生活パターンにはない一日だったので、少し疲れたかな？

祈りの水...2009年10月20日

名古屋近郊の稲沢にある矢合観音（やわせかんのん）の水は、境内にある井戸水で、般若心経や消災呪、延命十句観音経などのお経の言霊が入った水だ。

僕がこんなものを欲しくなっていくなんて…(^_^)

帰りにお寺の前の植木屋さんで、デコポンの苗木とチューリップの球根20個を買って来ました

。

デコポンは、レモン、キンカン、ゆずなどの柑橘類の鉢植えの横に置きました。

年明けには成っている実二つが食べられるかな？

チューリップは11月になったら植えましょう。



京都の花園、妙心寺の中に、宿坊をしている大心院というお寺があります。
その宿坊に泊まっていかれる方々に、僕の陶器で造ったお地蔵さんをお分けしたいと、かねがね思っていました。
和尚にその話をしたのは三年くらい前になります。
その後、かみさんが倒れて、ずーっと看病生活に入ったり、その後の生活も落ち着かず、なかなか実行できなかつたのですが、いよいよ明日、お地蔵さんを持って行くことにしました。
一体を幾らくらいでお分けして良いのかわかりませんが、志しという程度でも、販売価格という感じでもなく、一定額以上のお気持ちという形にしようと思っています。

♪ 明日の荷物は重いけどー
夢は広いぜ、心は弾むー
宿坊のお客さんが手に取ってー
かわいいお地蔵さんと
ながめていたよー
(古いけど、泳げたいやき君の替え歌で...)

楽しみだなー！

和み地蔵のデビューです！...2009年10月27日



京都、妙心寺塔頭大心院の本堂の横、宿坊の入り口に、お地蔵さんを設置してきました。

全体のテーマというか名称がないのは変なので、和尚に銘々して頂きました。

和気の和を取ったのでしょう、和み地蔵になりました。

一体、500円～1000円を、気持ちで納めて頂くようにしました。

家具屋さんでテーブルを買う予定にしていたのに、和尚さんがお寺の机とクロスを用意して下さいました。

簡単な感想などを書くノートも用意しました。

あなたの心が

らくに

なりますように

というメッセージも添えました。

和気の地蔵のデビューです。



三輪駅に降りたち、駅前の小さな商店街を歩いて大神神社に向かう。

木で出来た大きな鳥居をくぐり玉砂利を踏みしめて歩く。

鳥居をくぐると空気が一変する。

参道の心地よさを体一杯に受け止めながら歩いていくと、石段の向こうに大神神社の屋根が見えてくる。

大神神社は大和の一宮。

裏の三輪山をご神体としているので本殿はない。

参拝の後、祈祷受付所で名物の撫でウサギを撫でてから隼は狭井神社に向かう。



茶店を過ぎるとすぐに石段の上に狭井神社が見えてくる。

此処には鳥居がない。

木の間にしめ縄を渡し、それを鳥居の代わりにしている。

石段を上ると、さほど広くない境内だが、苔むした拝殿の屋根が歴史の古さを示している。

拝殿の左奥に、例の水を汲む所がある。

ペットボトル二本に水を注いだ。

一つをバッグに入れ、一つを手を持って、神社手前の茶店の前から山辺の道に入っていった。



山辺の道では、多くの中高年の人たちに出会った。

男性一人が何人か、男性三人組、何組かの夫婦、女性数人組、男女混合の歩く会のような集団。若い人は、女性の一人歩きとカップル一組だけだった。



まず最初のポイントは玄賓庵（げんぴあん）。

門を入ると、右手に小さな庭があり、そこに何と、和気さんの「和み地蔵」が置かれていた。この子は、ずーっと此の場で、立ち寄られる人たちに笑顔をもたらし続けるに違いない。



次のポイントは桧原神社。

ここは拝殿も本殿もない不思議な空間だ。

聞くとところによると、元々宮中内で祀っていた天照大神を最初に祀ったのが三輪山の麓の此の地だということだ。

古代の日本の人たちの営みに思いが広がっていく。

山辺の道は様々な表情を見せてくれる。

石畳、薄暗い林の中、田園風景、池に映る山々、そして神の。山三輪山…。

道端にある無料の野菜果物販売所などを覗きながら歩く。

すると不思議なものが目に入った。

← 神籬（ひもろぎ）遺跡と書かれた看板だ。

行ってみると、ミカン畑の中に小さく仕切られた中に小さな石が置かれていた。



神籬（ひもろぎ）とは、神道において神社や神棚以外の場所において祭を行う場合、臨時に神を迎えるための依り代となるところ、と辞書にあった。

神が降臨する場所だったらしい。

山辺の道は奥が深い。

```
google_protectAndRun("render_ads.js:google_render_ad", google_handleError,  
google_render_ad);
```


何と何と、31個も！...2009年11月07日



今年のレモンの収穫は少ないと思っていました。

入れ物を持って穫りに行きました。

駐車場にある鉢植えの木です。

実をもぎだしたら、何と、奥や下に垂れ下がっているのが沢山あって、表面的には見えなかったのが沢山穫れて、総計31個もありました。

みなさんが近くに居れば、お裾分け出来たものを。

ホットレモンにして頂きますね。

しなければならぬこと...2009年11月20日

僕の目はいつまで見えているのだろうか。

見ることが出来るのだろうか。

見辛い目で、携帯画面を拡大レンズを使いながら、必死になってログの記事を書いている。そんなことを無理してしなくても良いんだろうけれど、見えるうちにしておかなければ出来なくなってしまう。

僕が学び深めてきた気功を正確に文章にしておかねばならないのだ。

僕が感じた素敵な癒しのスポットを撮った写真と一緒に伝えておきたいのだ。

学んだ仏教、釈尊の教え、般若心経のすべてを書いておきたいのだ。

日々是遺言。

この言葉は、上岡柳太郎さんのサインにあった言葉だが、僕もそんなつもりで書いている。

沢山の記事を載せるし、論文みたいな、教科書みたいなものもあるけれど、そういうことなので、よろしくね！



もう30才を越えている僕の息子がまだ小学生の頃、父母の共同運営による学童保育所に通って
ました。

その息子の同級生に体に障害を抱えた男の子がいました。

学童の子供たちは彼をのけ者にしないばかりか、仲間の一員として受け入れ、一緒に遊びまし
た。

学童対抗の運動会でも、彼がいると団体にビリになることはわかっているけど、彼の一生懸命に走
る姿に涙して応援しました。

彼の母親も頑張り屋さんで、彼のために作業所を作りました。

そして、趣味でもあったのか、生活のためにか、カラオケ喫茶を開店さました。

その彼には姉がいました。

その姉はいつしか演歌歌手になっていました。

そして新曲を出しました。

そのポスターです。

清水たま希

「女の一生」

何処かで耳にしたら応援よろしくね。

カラオケをしている方は、是非、選曲して下さいね。



暖かい日差しに誘われて、ウィークデーにもかかわらず多くの人たちが紅葉狩りに訪れていた。
愛知県では有名な紅葉スポット、香嵐渓。

僕にとっては今年初めての紅葉狩りだ。

花より団子ならぬモミジより田楽。

Mさんと二人で生心田楽、豆腐田楽、こんにゃく田楽、そして、ニシンそば、猪肉そば、漬け物の試食...

残り紅葉を満喫した僕でした。





友人のMさんから喫茶店で本が読みたいから着いてきて来てほしいと連絡があり、家まで車で迎えに来てもらった。

行った喫茶店はなかなかシックな感じで、ちょっと贅沢なコロンビアコーヒーがあったので、それを注文すると、紅茶を入れるようなポットで出てきた。

この喫茶店はピーナッツやあられではなく不思議なものが着いてくる。

しかも三つの中から選べるのだ。

- ・ドーナツ
- ・梨のゼリー（後にコーヒーゼリーに変わった。）
- ・お団子

の三つだ。

僕は、お団子をもらった。

コーヒーに団子？

やはり、ドーナツにすべきだったかな？

コーヒーはコクのある濃い味で、二杯分ありました。

随心院にあったよ！...2009年12月13日



京都地下鉄東西線の小野で下車し、一番出口を出て、右の方にある信号のある交差点を左折して真っ直ぐ行くと、5分とかからないうちに随心院の看板が見え、その交差点を右折すると直ぐに山門があります。

随心院は僕の好きな癒しのスポットです。

かなり以前に此处を訪れた時に置いてきた和気のお地藏さんが、中庭の石の上にちょこんと置かれていました。

懐かしい人に会った感じでした。

今年の事件簿...2009年12月24日

- ・初日の出を三重県の白子の海に見に行きました。
- ・春に初めて沖縄に行きました。
- ・8月に緑内障の発作を起こし、緊急手術入院しました。
- ・夏に別府温泉に行きました。
- ・気功のDVDを作りました。（進行中）
- ・京都の大心院に和み地蔵の展示即売所を設置させて頂きました。
- ・カセットをCDにダビング出来る装置を買いました。

今年も、いまを幸せに、ここを幸せにの精神で有意義に過ごすことが出来ました。

今日は僕の誕生日なのですが、年明けまで一週間のこの時期だから、この年齢（とし）にしたい事への展望と同時に来年への構想をも練ることが出来ます。

- ・気功のDVDを作り続けます。
- ・和み地蔵を作り続けます。
- ・秋に、熱田神宮にて気功のイベントを開催します。
- ・気功の理論と技を更に深め進化させます。
- ・今年こそ、気功の仲間全員の名簿を作ります。
- ・もう一度、沖縄に行きます。

昨日、人体の不思議展に行ってきた。

残酷な人体実験のような展示物ばかりだった。

あれを動物でしていたら、きっと残酷さが強調され、反発が出るのだろうが、人体だと、それが如何にも作り物のように見えるためなのか、あまりそんな風に見ている人は多くはない。

しかし、そこに展示されて入るものの全ては現に生きていた人たちばかりなのだ。

人体の標本の展示、しかも、皮膚をはいだり、筋肉をはいだり、縦に横に切り刻んだりと、とても人間としての尊厳も何も無い状態での展示だった。

あんな展示会はやめるべきだ。

人体の解剖の展示ならば作り物で十分だ。

人体の不思議を見せるのであれば、免疫の機能とか、尿が作られる仕組みとかを模型で作るとか、医学的にしっかりしたものを作れるはずだ。

あれは、死んだ人を切り刻んだ標本の展示でしかない。

人間のすることではないように思った。



昨日、名古屋市近郊にあるショッピングモールへMさんの車で行きました。アジアン雑貨の店に行って買い物をしたかったのもあるけれど、実は髪の毛が伸びてきていたので床屋さんに行きたかったのです。

パソコンで調べてもらったら、そのショッピングモールの中にあっただけです。行って見て驚きました。

何と、10分1,000円。

入ると、まず1,000円でチケットを買い、飲食店のように名前を書いて順番をまちます。中でカットをしてもらっている人はいましたが、誰も待つてはいませんでした。

前の人が終わって、名前を呼ばれて中にはいると、足を乗せるだけの椅子がポツンとありました。

床屋さんのようなシャンプー台もなければ、髭そり道具も整髪料も、それを置く台もなく、仕切りの板には鏡が張ってあるだけなのです。

本当にカットだけの店でした。

家で母ちゃんにカットしてもらっている感じ？（相手はおじいさんでしたが…）

何か変な感じの床屋さんでしたよ。

懐かしい友の声...2010年01月28日

登録のない人からのメールが届いた。

アドレスからすぐに彼の名前はわかった。

大学時代のゼミの仲間だ。

彼の名前はジョー。

僕のニックネームであるウナギとジョーは大学の一時期、コンビというかベアーというか、かなりの友人として過ごしていた。

彼からの年賀状に対して、かみさんの本を贈ったのだ。

メールをくれたお礼と共に僕の現状なども書いて返信をした。

彼からすぐに電話がかかってきた。

懐かしい声だった。

感情豊かな彼の声は泣いていたように感じた。

かみさんのことに対して泣いていたのだ。

いつか、彼とゼミの先生に会いに行こうと約束した。

気功教室の帰りに携帯に電話がかかってきた。

登録のない番号だった。

教室の問い合わせかな？

電話に出ると

「あの一、わたし、Tの娘ですが、自宅にメモがありましたのでお電話いたしました。」

という声が帰ってきた。

Tさんというのは、今年、95歳になられるお爺ちゃんで、僕の教室に、もう10年も通ってきて下さっている生徒さんだ。

Tさんは、よほどの都合がない限り教室を休むことがない。

10年以上、休むことなく気功教室に通いつけているのだ。

その彼が、年末から顔を見せなくなった。

電話をしても出ない。（聞こえ辛くなってきたので、電話には出ず、ファックスで連絡しているらしい。）

僕は携帯しかないのでファックスを受け取ることが出来ない。

文化センターに連絡を取ってもらったが何の音沙汰もない。

風邪だとしても、もう二ヶ月になる。

という訳で、昨日、僕の家からは、同じ名古屋市内でもかなり離れた所にあるTさんの家を訪ねていったのだった。

10年ほど前に訪問したことがあるので、その記憶を頼りに、地下鉄を乗り継ぎ、何となく覚えている風景を頼りにTさんの家に辿り着いたものの、やはり留守で、そこで暮らしている雰囲気はなかった。（人の気配がないのだ。）

米寿を過ぎたあたりから、来年は娘の所に行かないといけないかも知れないと言いつけておられたので、そうなったのかも知れないと思ったが、それなら何らかの連絡は来るはずだ。

連絡も取れない事態になっているのかも知れない。

年が年だけに、いくら元気だったとはいえ、心配でならなかった。

仕方なく、僕の電話番号を書いて、メモを玄関に挿んできたのだ。

そのメモを見て、娘さんから電話があったという訳だ。

年明けから肺炎になり、何とか持ち直したのですが、まだ入院しているんです。

最近笑顔も見せるようになり、元気になってきています。

娘さんの話に、僕はホッと胸を撫で降ろした。

名古屋を離れ、知多半島の娘さんの家の近くの病院に入院されているとか。

機会を見つけてお見舞いに行かなくては…。

僕の通勤の最寄りの駅は地下鉄「中村公園」だ。
地下鉄を出ると目の前にミスタードーナツがある。
近くに喫茶店がないので、ついつい入ってしまう。
ひと休みするためだ。
で、今日も入ってしまった。
先日、コーヒーをやめようと思ったので、それ以来、家でも治療院でも、喫茶店でも自販機でもコーヒーは飲んでいない。
しかし、ドーナツにミルクはなー？
ミスドに入ると、ついついカフェオレを頼んでしまった。
おかわり自由というのも引かかったのだ。
で、カフェオレを飲んだが、やはり胃に負担がかかった気がした。
次からは紅茶にしようと思った。
今日だけ、コーヒー、許して下さいね。

映画「おとうと」 ...2010年02月03日(

いま公開中の映画「おとうと」を観に行った。

吉永小百合さんと鶴べえが主演の映画だ。

山田洋次監督作品らしくというか、寅さんっぽい映画だった。（寅さんのように大笑いする場面は少なかったかな？）

人間らしい、真面目に生きている庶民の暮らしの中にある温かい愛情が感じられる良い映画だった。

みなさんも是非観てきて下さいね。



僕の家近くに、国産野菜を使うことで売り上げを伸ばしているといわれている長崎ちゃんぽんの店があります。

ところがその店は僕の生活領域の中にはないのです。

地下鉄も治療院も家の北側にあり、そちらの方向にあるCoCo壱番屋や回転寿司の徳兵衛、なか卯、吉野家、ザめし屋、ミスド、マックなどにはよく行くのですが、長崎ちゃんぽんの店は南側の大通りにあるので、一人で歩いて行ったことはなく、Mさんの車で食べに行ったことが二三度あるくらいでした。

しかし、一端家に帰ると北側の店に行くより長崎ちゃんぽんの店に行く方が近いのです。で、今日初めて歩いて行ってきました。

なんと、嬉しいことに、もつ鍋があるではありませんか！もつ鍋の中にちゃんぽんが入っているのです。

僕は子供の頃からモツが好きなのです。これで、モツを食べられる店が、CoCo壱番屋と長崎ちゃんぽん、それに旬菊という居酒屋さんの三つになりました。

最高のパフォーマンスを！...2010年02月16日(

オリンピックが始まりました。

あらゆる競技が美しさ、速さ、高さなどを競い合っています。

そのそれぞれの目的を達成するために血の滲むような想いで技を磨いてきたのです。

その結晶としてのパフォーマンスがあるのです。

競技なので仕方はないけれど、勝つ負けるということに焦点を合わせないで、自分の持っている最高の技を失敗を恐れずに見せていただきたいし、僕たちも、金だ、銀だなどという視点ではなく、ぎりぎりのところに挑戦する感動的な技に応援を送りたいものだと思います。

四回転のサイボーグといわれるフランスの男子フィギアスケートの選手を特集したNHKスペシャルを観た。

彼の姿勢はまさにスポーツマンシップだった。

採点基準の変更で、失敗ジャンプの減点が高くなり、四回転ジャンプが出来るのに、失敗しないために三回転にして得点を稼ぐ選手がいるが、それは違うと思う。

いま出来る最高の技を見せるのが本当のアスリートだ。

だから、僕は一つの演技の中に四回転を三度入れて演技する、というものだった。

真央ちゃんも金をねらって失敗しない演技をまとめるのではなく、彼女にしかできないトリプルアクセルを二度入れて、場内を、僕たちを感動の渦に巻き込んで欲しいと願っている。

ミキティには、あの腕がちぎれそうなストレートラインステップを見せて欲しい。

金などというプレッシャーは捨てて、「自分」を表現していただきたい。

その点、鈴木さんの演技は見ごたえがあるのではないかと期待している。

金のため、日の丸ねためではなく、自分のために最高の技を表現してもらいたいものだ。

藤田まことさん逝く...2010年02月18日

僕が子供の頃に観ていた「てなもんや三度笠」。

大村崑さんの「とんま天狗」と並んで、お笑いの人気キャラクターだった。

コメディアンと思っていた藤田まことさんが、必殺の主役として僕の前に現れた時には、その変貌ぶりに驚かされたものだった。

そして、人情あふれる「はぐれ刑事」。

いい役者さんだった。

あんなに人間味あふれる役者さんはいなかったように思う。

藤田まことさんのご冥福をお祈りいたします。

決心して買いました...2010年02月20日



一度見かけてから、何故か色とデザイン、機能性に惚れてしまい、ずーっと悩んでいたのですが、ついに今日、ゲットしました。

今までは神宮のバッグ屋さんで、千円のものばかりを買っていたので、その6倍以上するバッグなので、すぐには買えなかったのです。

ずーっと使うのだから、いいよね。

これとお揃いのリュックもあるんだけど、きっと買うだろうな。



山盛りの粉チーズを分けると、ケチャップで炒められたウインナーソーセージとタマネギ、そしてスパゲティ。

鉄板に敷かれた卵がジュージュー音を立てていて、それは美味しそうなスパゲティです。

これが噂のミヤのスパゲティです。

ミヤは、中村公園参道にある喫茶店です。

キムヨナは強かった...2010年02月26日

女子フィギアのショートプログラムを観た。

キムヨナの貫禄勝ちというところか。

様々な技を完璧に仕上げる、こなすというようなものではなく、それらの技を使って「ボンドガール」を演じ切っていた。

一つのショーのようであった。

真央ちゃんのは、完璧にこなす彼女の演技をを観てあげるたいった感じがした。

キムヨナの演技は、お金を出して見せてもらう、見に行きたいというもので、他にもそういう見せる（魅せる）演技をしている人もいたが、それを可能にする技が弱かったように思う。

三日前にお母さんを亡くされたロシェットの「悲しみのタンゴ」の演技も感動的だった。

技の力と表現力を兼ね備え、見せる演技のできるキムヨナが一番に来るのは当然かも知れない。

フリーでもキムヨナは素晴らしかった。

真央ちゃんが最強のトリプルアクセルを二回も完璧に飛んだけれど、それでも届かなかったキムヨナの演技は例えようもない強さなんだろうね。

圧勝だったね。

お母さんを亡くすすぐのロシェットも、その精神的な強さは凄いよね。

真央ちゃんのまだこれから伸びる力を秘めた演技を更に磨いて欲しい。

まずは詩仙堂へ



京都駅から東福寺に行き、京阪電車で出町柳まで、そして叡山電車で最寄りの駅（一乗寺）まで行って、そこから歩きます。

詩仙堂は、宮本武蔵と吉岡一門との決闘で有名な一条下り松の上にあるんですよ。

詩仙堂は、まだまだ冬の気配でした。

しかし、可愛い椿の花だけは、春を迎えるように咲いていました。

庭の奥の石灯籠の前の以前から置いてあるお地蔵さんの隣に、少し大きめの白いお地蔵さんを置いてきました。



黒谷さんへ

叡山電鉄で出町柳に戻り、金平糖の店に寄った後。京大の横を通り吉田神社へ。

山を越えて真如堂から黒谷さんへ向かいました。

黒谷さんの本堂横の阿弥陀如来の横に小さなお地蔵さんが居るんだけど、ここにも、もう少し大きなお地蔵さんを置くことにしよう。



黒谷さんというのは人の名前ではない。

金戒光明寺というお寺の通称だ。

浄土宗の開祖、法然上人が開いたお寺で、法然上人は比叡山の黒谷で修行し、南無阿弥陀仏の念仏を得たということで、彼を黒谷さんと呼ぶようになり、この寺も黒谷さんと言われているようだ。

僕がここに来たのは、匂い袋を買うためだ。

干支の動物の形をした匂い袋が売っているのだ。

しかし、時季的に遅かったのか、それとも作っていなかったのか、虎の形の匂い袋は無かった。

椿の花の形の物とウサギの顔をあしらった物があったので、娘の 娘の干支が卯なので、ウサギの匂い袋を求めた。

詩仙堂と黒谷さんに行く僕の予定は終わった。

平安神宮の横を歩き、どら焼きを買い、何と京都らしからぬ？カレーうどんを食べ、知恩院に行こうかと思ったが、寒くて、明日は仕事があるし、早く帰ろうと思い、京阪三条に向かって歩き、そこも通り過ぎて寺町商店街（新京極？）に入った。

本能寺の前を歩いて京都市役所駅から地下鉄で京都駅に出た。

着いたのが三時十分前。

高速バスの切符を買いに行く。

三時のなら直ぐに出ますが、と言われたけれど、もう少しお土産を見たかったので、次のバスにした。

バスは四時に出た。

昨夜は、大心院の阿吽艇が見下ろせる二階に泊めていただきました。

夜中降っていた雨も、出かける八時半頃にはカラリと上がり、沢山歩くことが出来ました。

いつもは朝の散歩に近くの仁和寺まで行くのですが、それは出来ませんでした。

一階には若い娘さんたちが沢山泊まり、就寝時間の十時頃までは、黄色い声が響いていました

。

朝、七時半頃、顔を洗いに一階に降りていくと、就寝前にトイレに行った時に脱ぎ散らかされていた彼女たちのスリッパが一つもありません。

いつものように、本堂前の廊下で朝の気功をしようとして行ってみると、締め切った本堂の中から和尚の説教が聞こえてきました。

彼女たちは座禅をしていたのです。

仏教ブームはこんなところにも現れていました。

彼女たちは和み地藏を買ってくれたかな？



今日は京都の北野天満宮の梅の写真を撮りに行きました。

初めて入った梅苑には紅梅、白梅のほかに、黄緑色の梅も咲いていて、また、京都の洛中と洛外を分ける御土居（おどい）のせせらぎが耳に心地よく、なかなかの梅見になりました。

写真は携帯で撮ったものです。



名古屋は朝から雨。

朝の治療が終わっても雨は降り続いていた。

僕は悩んでいた。

長谷寺に行くべきか、伊勢神宮の外宮にするか。

傘を差して歩くなら伊勢神宮の方がラクだ。

長谷寺に行くのには一つ目的があった。

携帯で三重と奈良の天気予報を見る。

どちらにしろ雨には違いなかった。

僕は伊勢神宮に行くことにして治療院を出た。

しかし、道に出た途端に気が変わった。

治療院に引き返してお地蔵さんをバッグに入れた。

近鉄特急名古屋発11時半。

名張で快速に乗り換え、榛原（はいばら）で普通に乗り換え、長谷寺駅に着いたのは1時半。

そこから歩いて約20分で長谷寺の山門に着いた。

若い坊さんが立っていて、特別拝観を勧めてくれたが、僕の目的はそういう拝観ではないので、普通の拝観料を払って中に入った。

長谷寺の有名な登廊を上る。

上の境内に着くと、僕は本堂のある左に行かず、右手にある能満院へ。

そして入り口に立っている子供を抱いた大きなお地蔵さんの足元に僕のお地蔵さんを置いた。



能満院は僕が小銭入れの中に入れて持ち歩いている三鈷のお守りを分けていただいているところだ。

普通のお守りのように売っているわけではなく、お花代として住所氏名を記帳してくると、祈祷したものを自宅に郵送して下さるのだ。

自分のものだけではなく、他の人に分けてあげると良いというので、もう幾つ知人に差し上げている。

その三鈷のお守りを申し込んでから本堂に向かった。

観音様には軽く挨拶をただけ。

僕の好きな前の舞台に出た。



ここから見る五重塔は趣があっていい。

それからその五重塔に向かった。

五重塔の横には柵で囲まれた場所があり、三重塔跡という石碑が立っていて、以前、その石碑の上に僕のお地藏さんが置かれていたのだ。

策の中の石の上にちょこんと置いてきたものを、お寺の方が前掛けまでかけてくれてそこに移し替えて置いてくれたのだ。

それは無かった。

僕もそれはさすがに気が引けていたので、何となくホッとした。

史跡を示す石碑の上にあるのは如何なものか。

お寺の上の人が止めさせたのか、それとも小さいものだから風にあおられて落ちてしまい、何処かに置かれているのか、それは僕にはわからない。

再び登廊を下って山門に出た。

寺の前のお店で草餅のお焼きを二つ買って食べながら駅に歩いた。

途中、花屋さんで牡丹の苗木を二鉢買った。

長谷寺は牡丹の寺としても有名で、五月の連休頃には歩くことも出来ないほどの込みようになるそうだ。

駅に着くと、時刻も調べていないのに、直ぐに榛原行きの普通が来て、榛原で直ぐに名張へ行く急行が来て、名張に着くと、1時間に一本の名古屋行きの特急が来て、帰りは1時間半少しで、電車を待つホームでぼんやりすることもなく帰って来ることが出来た。ちなみに、長谷寺では駅から長谷寺の往復も含め、全く傘を差さなくて良かった。(雨は降っていなかったのだ。)

雨と言い電車の乗り継ぎと言い、僕はかなりの運を持っているのかな？

それとも気功の先生だからかな？

新しい冷蔵庫...2010年03月05日

一人暮らしにしては大きすぎる冷蔵庫を使っているのに、中には殆ど何も入ってなくて、冷凍物しか保存していないし、小さめの冷凍庫が大きい冷蔵庫を見に行きました。

僕はあれこれ悩む人ではないので、即決で決めてきました。

月曜日に搬入です。

高野山へ...2010年03月06日(土)

高野山は、比叡山や京都、奈良のように、サッと日帰りでは行けないので、なかなかお地蔵さんを持っては行けません。

結局、お地蔵さんを三体も持って行くことにしました。

少し大きめの二体をリュックに入れ、大きい一体は袋に入れて下げていくことにしました。

三体とも同じところに置く予定です。

比叡山の西塔釈迦堂裏の山の中のみろくの石仏横に置いている大きめのお地蔵さんは僕のお墓です。

そればかりではなく、ほかの場所に置いてあるお地蔵さんもみんな僕のお墓です。

勿論、いまはそんなつもりはないのですが、いつかはそうなるのだらうと思います。

それにしても今回のお地蔵さんは重たいよー！

お地蔵さんを置きました...2010年03月06日(土)



高野山に着くと、僕は大伽藍に向かいました。

お地蔵さんを置きに行くためです。

先に大師教会での受戒をしても良かったのですが、何しろお地蔵さんが重くて、まずは荷物をラクにしたかったのです。

大伽藍に入り、少し行くと根本大塔が現れます。

その向こうに御影堂があり、その間の広場の一番奥の杉の木の根元に置くことに決めていました。

小雨が降っていましたが、人影もなく、ゆっくり置くことができました。



お地藏さんを決めた場所に置いた僕は、来た道に戻り、大伽藍入り口にある大師教会に向かった。

受戒を受けるためである。

大師教会に入り、受戒の受付をし、広い講堂で呼ばれるのを待った。

受戒は1時からである。

講堂の奥に受戒堂がある。

名前を呼ばれて入ると扉は閉ざされ、真っ暗になり、二本のローソクの灯りを背にアジャリ様が現れる。

顔もお姿も影なので何も見えない。

アジャリ様の声に続いて十善戒を唱える。

島根から来られた夫婦と僕の三人だけだ。

十善戒を唱えた後、アジャリ様から直接「菩薩戒牒」を授かる。

気功合宿などで何度か来たことはあるがあるが、僕が直接戴くのは初めてだった。

見えないから、あとから戴きますと言ったのに、誘導しますから直接受け取って下さいということで、アジャリ様の前まで誘導していただいた。

嬉しかった。



この菩薩戒牒大事な大事な宝物だ。

菩薩戒牒を戴いたあと、アジャリ様のお話がありました。

今日からみなさんは菩薩様です。

どんなことでもかまいませんので、他人の為に役に立つことをして下さい。

釈尊の弟子のチューラという人の話を題材に、他人のためになることをして感謝されるようになって下さいと教えて下さいました。

感謝されるということは、必要とされているということです。

他人に必要とされていくことが人生を豊かにしていくのです。

なるほどなーと思いました。

気功を通して他人の役に立つことをしていくことが、僕自身を豊かにしてくれるんだなーと感じました。

僕の地位や名誉のためでなく、ましてや金銭や財産の為でもなく、ただその人が喜んでくれること、気功が出来るようになって良かった、体がラクになって良かった、心がラクになって良かったと言われることだけを考えて気功を深めていかななくてはならないのだと改めて感じました。

やはり、高野山に来て良かったなー。

さようなら高野山...2010年03月07日(日)

僕にとって高野山は、大事な癒しの旅の一つである。

宿坊での朝食を済ませ、宿代を払い報恩院を後にした。

まずは霊宝館へ。

高野山の沢山の宝物を展示している。

大日如来、薬師如来、不動明王をはじめ多くの仏像が展示されていて楽しかった。

軸や書などは余り見えないので元々興味がないので通り過ぎるだけ。(もったいないよね。)

霊宝館を出て再び大伽藍に入った。

金堂、根本大塔を回り、お地蔵さんに別れの挨拶をして金剛峯寺へ。

今回の旅では奥の院に行く予定はなかったので金剛峯寺にした訳だ。

金剛峯寺には手を合わせる仏像はいないし、坐って木を感じる庭もないので、(殆ど襖絵ばかり) 行きたいところではなかったのだが、パックの中にお茶券が入っていたので寄ったという訳だ。

残念ながら抹茶ではなく普通のお茶だった。(行ってみて思い出した。)

金剛峯寺を出て、喫茶店づでカフェオレを飲み(体を温めるため)、お土産のごま豆腐と和氣に置く大日如来坐像、塗香を買って帰路に着いた。

高野山から難波までの特急券は一回だけの変更が利くので、早めに帰ることにした。

僕にとっての高野山は、やはり大伽藍での朝の気功と受戒堂での受戒の儀式、奥の院でのロウソク祭だった。

今回は小雨のため、朝の気功も出来なかったが、念願のお地蔵さんを置くということを目的とした旅だったので、満足の出来る旅であった。

高校生の時に男三人で実家のあった白浜から歩いて来た高野山。

高校生の時のクラブ(ユネスコ部)の合宿で来た高野山。

気功合宿をはじめ、かみさんとも何度も訪れた高野山。

その高野山に初めて一人で来てみて、やはり高野山は心のふるさとだなーと感ずることが出来た。

ありがとう高野山。

さようなら高野山。

また来ますからね。



海が見たくて竹島に来た。

海は風が強く竹島に向かう橋の上では風に飛ばされないように、かなり真剣に歩いた。

島に祀られている八尾萬の神に手を合わせ、島の東側に回ると風もなく暖かな日差しであった。

島を半周する遊歩道を歩いたが、ここには弁当を持ってのんびり来たいものだと感じた。



竹島を見下ろす高台に建つ蒲郡プリンスホテルからの眺めもなかなかだ。

時々、おばさん集団が台風のようにやって来るが、それが過ぎ去ると静かで落ち着いた喫茶室だ。



これが蒲郡プリンスホテル。
カフェオーレ一杯800円！
さすがー！



気功の学校の開かれている名古屋市市政資料館の周辺は、春の花たちが咲き乱れていました。



今夜の晩ご飯は、少し奮発して、和食です。

えっ？ 名古屋で京料理が食べられるの？

いいえー、食べられませんよ。

京都に来て食べているんですよ。

ちょっと贅沢かな？

今夜の宿...2010年03月13日(土)



ここは旅館でも民宿でもありません。
いつもお世話になっている大心院の宿坊です。
こたつがあるなんて嬉しいなー！

石山寺...2010年03月14日(日)

実はね、今日、滋賀県の石山寺と坂本（日吉大社など）を歩く予定にしていたね、朝、名古屋を出ても良かったんだけど、どちらも京都に近いしね、夜のうちに京都に行っておいた方が楽なのでね、昨日のうちに京都に来たという訳なんだ。

大心院は嵯峨野線の花園にあるのでね、朝、京都に行ってから東海道線下りに乗って石山に行き、石山寺を歩いた後、京阪電車で石山から坂本に行き、日吉大社と旧竹林庵を歩く予定。

日吉大社には物凄いパワーストーンが祭られていてね、場の気を感じも最高レベルに良いんだよ。

帰りは、京都に出てから考えます。

名神高速バス超特急があればいいんだけどね。

石山寺の山門の仁王さん



石山寺の謂われになっっている巨岩



石山寺の裏はお花畑で、春を呼ぶ花が匂っていました。





念願の日吉大社にやってきました。
素敵な気の場です。

西本宮社前に大威徳石、祇園石と名付けられている
パワーストーンがあり、それらの背後に神木が立っています。



坂本にはまた来ますね！...2010年03月14日(日)

今朝8時に、宿を取った花園大心院を出ました。

出る時に、寺の奥様が、和み地蔵の「売上金？」を渡してくれました。（11,000円も入っていました。）

花園から京都駅に出て、石山に向かいました。

石山駅からバスで石山寺に行き、巨岩を見、本堂で吉祥呪を唱え、瀬田川の見える見晴らしの良い所にお地蔵さんを置いて、境内（お花畑）の梅やカンザクラなどを愛で、珍しく信楽焼の（そうは見えないんだけど）の小さな大黒天の像を買い、石山寺を後にしました。

そこから10分ほど歩いて京阪石山駅に行き、坂本まで電車でゆられました。

京阪坂本駅を降りて、ゆるやかな坂道を昇っていくと日吉大社です。

ここにある祇園石と大威徳石、そして境内に広がる穏やかな気に会いたくてここまで足を延ばしたのです。

時間をかけて境内を散策しました。

満喫、満足の時間が持てました。

日吉大社を出て、門前にあるお店でお昼（ゆば重）を戴きました。

うな重のうなぎの代わりに生ゆばのあんかけがのっていました。

昼食の後、向かい側にある旧竹林庵に入りました。

広い庭園を歩きます。

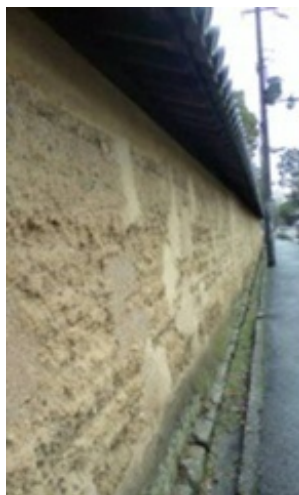
カメラのグループが数人来ていて、何処其処のコンクールに出さなきゃーなどと言いながら、苔蒸した庭の陰影に大きな一眼レフを向けていました。

庭の散策を終え、邸内に上がり、庭を見ながら抹茶を戴きました。

しばらくは僕一人でしたので、ゆっくりすることが出来ました。

予定では、大心院にある和み地蔵の中の少し大きめのものを持ってきて、此処のお庭にも置くはずだったのですが、お地蔵さんを持ってくるのを忘れ、それは叶いませんでした。（また次の機会に！）

旧竹林庵を出て、京阪電車に乗り、皇子山で降りてすぐ近くのJR湖西線に乗り換えて京都に戻りました。



名古屋7時50分発の高速バスに乗って奈良に行きました。

近鉄奈良駅前で下車し、東大寺に向かいました。

地下道をくぐった後やわすぐに路地に入ります。

歴史を感じさせる土塀の道を歩いて行くと吉城園(?)という所があったので入りました。

かなり広いお庭でした。

東大寺の西側にありますので、是非、足を運んでみて下さい。



吉城園の庭を出て、真っ直ぐ行くと突き当たりに上りの石段があり、その上が戒壇院です。僧として戒律を守って生きていきますという誓いをたてる場所で、東大寺の中では一番神聖な場所なのだと思います。

戒壇院には国宝の四天王像があり、戒壇の周りの四隅に立っていました。

戒壇院を出て大仏殿に入ります。

奈良と言えば、やはり大仏さまでしょう。

圧倒的な迫力がありました。

東大寺は華嚴宗で、本尊はビルシャナ仏。（この方が大仏様。）

左右にも大きな仏様（虚空蔵菩薩さまと誰だっけ？）がいらっしゃって、その方たちですら他のお寺の仏像に比べればかなり大きいのに、それらが小さく見えました。

時々、この大仏様を拝みに来たいものです。



東大寺大仏殿を出て、四月堂、二月、三月堂（法華堂）を廻り、春日大社に向かいました。二月堂の「観音力」の朱印をいただき、春日大社ではパワー一杯の「勝守」を求めました。（こういうものを求めるのは初めてです。受験生でもないのに、何に勝ちたいんだろうね？）

春日大社から高畑の町を歩いて白毫寺に向かいました。

途中、そば処「観」というお店で少し遅い昼食を取りました。

白毫寺の近くに「倭」という家の表札を見つけました。

スゴイ名前！

歴史のある奈良ならではの表札だなー。

白毫寺の前で「東大寺のりこぼし」という品種の椿の苗を買は五色白毫寺の椿が有名で、その苗も売っていました。

白毫寺はかなり高い場所にあるので奈良の街が見渡せます。

そこに「お地藏さん」を置いてきました。



その後、新薬師寺によって帰りました。

ならまちを歩きましたが、元興寺や資料館はもう終わっていました。（残念！）



東山植物園の中で椿展が開かれていた。

椿を育てる愛好者は多いようだ。

写真には撮らなかったけれど、見事な枝振りの鉢植えの花などが幾つも展示されていた。

苗も売っていたので、昨日買ったばかりの「のりこぼしの苗ってありますか？」と尋ねてみると、やはりそれはなかった。

すると、受付にいたおばさん二人が、東大寺ののりこぼしでしょう？

あ、はい。

いま、食べちゃった。

そう言って足下から箱を取り出した。

それはお饅頭の箱だった。

そういう名前の和菓子みたいだ。

苗はいらないけど、そのお饅頭、食べたかったです。

僕はそう言って笑った。

今度、奈良に行く機会があったなら、「東大寺ののりこぼし」という苗ではなく、お饅頭を買ってこよう！

写真は有楽（うらく）という品種の椿。



農業センターと言えば、焼き芋とソフトクリーム。

しかし、しだれ梅祭りはが終わっていた（**14日**まで？）ので、焼き芋は無かった。

祭り期間中だと、**30分**は並ぶほどだ。

ソフトクリームも同じく、かなり並ぶ。

でも、今日は並ばなくてもすぐに買えた。

焼き芋がなかったので、サツマイモのソフトクリームにした。

ソフトクリームの原材料を出してくれる牛さんに赤ちゃんが産まれたとかで、子牛がモーモー鳴いていた。



祭り期間中は苗木も売っているのだが、それもなかった。

花の終わった長い枝を切り落としているお兄さんに、

挿し木で着きますかね？

と尋ねると、

難しいんじゃないですか？

の返事。

でも、僕の家のだれ桃は、何本も挿し木で増やしている。

その枝、もらえる？

そう言って、三本の切り落とした枝をもらってきた。

早速、庭に挿したが、さて、そんなに簡単にはいかないかな？

祭りが終わっていても、楽しめた農業センターでした。

N p O法人生涯学習ネットワーク中部という団体のお招きで気功講習会をしてきました。

会場は、名古屋市の東別院にある女性会館。

女性ばかりかと思ったら、四分の一ほど男性もいました。

僕に向かって馬蹄形になって並び、スワイショウから始めました。

ただ手を振るだけなのに、肩に力が入って、なかなかラクに出来ない人もいて、少し直して回りました。

スワイショウのあとは香功（シャンコン）の講習です。

曲に合わせて一度通して行ない、次に一つ一つ覚えてもらうという意味で解説し、香功（シャンコン）がなぜ良いのかの話をし、再び曲に合わせて通しました。

主催者の方に原稿を渡していたので、解説の資料はみんなに行き渡っています。

それに僕が香功（シャンコン）の曲をCDにダビングしたものを持って行ったので、それも受付で渡してもらい、うちに帰っても香功（シャンコン）が出来るようにしておきましたが、さて、そろはどうなるかな？

香功（シャンコン）のあと、椅子に座っての背骨ゆらしと気で顔を洗う気功、全身を洗い流す気功をして講習を終えました。

久しぶりの一日講習会でしたが、香功（シャンコン）はテキストとCDをセットにして渡すようにすると、継続していただけるかも知れません。

一回きりで終わらずに、自分一人でも出来るようにするのも先生の勤めかな？



京都から奈良線に乗り換えて一つ目の東福寺駅で京阪電車に乗り換える。

神宮丸太町で下車。

丸太町通りを東へ約20分ほど歩くと、右手に平安神宮の裏側の囲いが見えてくる。

それを過ぎて左へ入っていくと金戒光明寺だ。

本堂左手の阿弥陀如来坐像の横の以前から置いてあるお地蔵さんの隣に少し大きめの素焼きの茶色いお地蔵さんを一体置いた。

写真を撮るのを忘れました。

本堂の中に入り、木魚を打ちながら、南無阿弥陀仏、南無阿弥陀仏と何度も唱えた。

小さな匂い袋を買おうかなと思って、そこに行くと、何と、虎の匂い袋があるではないか！

先回は、これを求めてきたのに無かったのだ。

それを持って、これ、三週間ほど前に来た時には無かったですよね？

はい、それは新しく買ったものです。

勿論、一つ買うことにした。

今日の収穫だ。

歩行者ナビ...2010年03月20日(土)

金戒光明寺を出た僕は、永観堂に向かった。

と言っても道がわからない。

だいたいの方向見当はつくのだが、案内板や町並みなどが見づらくなってからは、何となく不安になる。

そこで、初めて携帯でナビを使うことにした。

えっ？

ナビって車じゃないの？

いえいえそんなことはなく、僕の携帯には、歩行者用のナビも付いているんですよ。

出発地、目的地を記入すると、だいたいの所要時間（もちろん歩いて！）が案内されナビが始まる。

五百メートル先を右へ、そのあと百メートル先を左へ。

まるで車と同じだ。

その通り歩いていくと、

約三百メートル先を右へ...、約百メートル先を...、まもなく右へ...、と順に案内され、永観堂の山門に辿り着いた。

ここは割と知っているところだったし、道も難しくはなかったが、このナビを使うと、不案内な道でも安心して歩けるかも知れない。

やったー！



障害者手帳を見せると、永観堂の拝観料は無料になった。

境内に入り、決めていた場所にお地蔵さんを置いた。

本尊の見返り阿弥陀様に顔を向けて置いた。

そして、以前置いた、奥の滝のところのお地蔵さんを見に行った。

石碑の台の上にちょこんと坐っていた。

本堂に上がり、臥龍の登廊を上っていった。

この奥から、昔はスリッパに履き替えて多宝塔まで上れたのだが、ここ何回か行ったが、立ち入り禁止になっていた。

今回も同じだった。

そう言えば庭に「多宝塔五分」という案内があったような気がする。

庭に降りて、案内の方に歩いて行った。

堂を結ぶ渡り廊下の下をくぐって、石段の道がある。（お堂から見えた道だ。）

そして、多宝塔に到着した。

永観堂の一番高い場所で、京都市内が一望できた。



これも今日の収穫だ。

南禅寺...2010年03月20日(土)

朝6時半に起きて、バナナとヨーグルト、そして味噌汁を口に入れただけなのでおなかが空いてきた。

でも昼にはまだ早い。

そうだ！

南禅寺に行ってお茶を飲もう！（抹茶だよ。）

永観堂を出て南禅寺へ。



山門のところに一枝だけ桜が咲いていた。（近づいていないので確かではないが、早咲きの桜だと思う。）

南禅寺も拝観料は無料になった。



抹茶をいただき、方丈庭園などを見、南禅寺をあとにしたが、やはりおなかは空いていた。

11時半。

少し早めの昼食を取った。

南禅寺門前にある天授庵というところに初めて入った。

南禅院、金知院には、かつて入ったことはある。

天授庵は、かなり良い庭だ。

いわゆる回遊式庭園で、鯉の泳ぐ池の周りをのんびり歩くことが出来る。
ここは近くに来るたびに立ち寄ってみたいと思った。

東福寺開山堂・芬陀院...2010年03月20日(土)

天授庵を出て、平安神宮の前のお堀沿いの道を通って京阪三条駅へ行く。

そして電車で東福寺へ。

今日は方丈に入る予定はしていない。

まずは開山堂へ。

ここの廊下（通天橋だっけ？）は素晴らしい。

開山堂の門をくぐると、右手にちょこんとお地蔵さんが立っていた。

静かで落ち着いた雰囲気のある庭を堪能した。（庭の写真はありません。）

開山堂を出て、最後のお地蔵さんの置く場所に決めていた芬陀院へ。

開山堂も芬陀院も手帳のおかげで拝観料は無料。

芬陀院の玄関の横の岩陰にお地蔵さんを置いて中に入る。

今まで幾つかの円窓を見てきたが、ここの円窓は最高だ。

長い縁側に坐って居ると、

檀家さんからいただいた物ですが…

と言って、奥さんがお饅頭とお茶を持ってきてくれた。

客は僕とあと一組の親子連れ（母娘）。

草餅にきなこがかかったような美味しいお饅頭でした。

こんなことしていただいていた方がいいのかなー？

新しい住人が...2010年03月22日



以前、テレビで見て、その時に買えば良かったんだけど、電話番号を記録しなかったものだから、わからなくなり、しばらく経って、やはり欲しいなーと思うようになって、ついにビックカメラで買いました。

買いに行くと、色々あって、店長おすすめというこのお鍋にしました。

しかし、店内在庫もメーカー在庫もなくて、取り寄せて、後日宅配ということにしたのです。で、それがさっき届いたという訳です。

やったね！

早速、豆乳鍋を作ります。

嬉しいなー！



名古屋市には障害者にとって嬉しい制度がある。

勿論、障害の等級によってだが、福祉乗車券というものが交付される。(公布?配布?支給?)何かというと、名古屋市の地下鉄、バスの乗車料金が無料になるカードだ。

僕は視覚障害者だが、視覚障害の場合、視力や視野がかみ合わされて等級が決まるので、僕の場合、介添え人も含めて無料のカードがもらえるのだ。

障害者が家に閉じこもらないように、積極的に社会参加できるようにするための施策だ。

僕は、自宅と治療院の行き帰りは、20分ほどテクテクと歩くのだが、文化センターや盲学校、気功の学校などに出かける時は、必ず、地下鉄を利用している。(週に5~6回は地下鉄を利用する。)

それぞれに交通費の支給はないので、この制度は非常に助かっている。

そのカードを、今日、もらいに行って来ました。

全盲や全盲に近い人が街を歩く場合、案内板や看板などを見て歩いている訳ではない。ある地点からある地点までの地図が頭の中にインプットされていて、幾つ目の曲がり角をどっちに曲がって、そこまでは何歩くらいあって、その辺りはどんな音や匂いがある…と、あらゆる見える以外の情報に従って歩いている。

だから、初めて行く所には絶対に行けない。

頭の中に何の情報も無いからだ。

誰かに一度連れて行ってもらって一定の情報を得て、さて、一人で歩き出すのだが、その際、助けになるのが白い杖（白杖、はくじょう）と点字ブロックだ。

白い杖は、言わば昆虫の触角みたいなもので、前に障害物が無いかどうかを確かめている。

点字ブロックは、真っ直ぐ歩いて良い道か、曲がり角や交差点かなどを教えてくれる指標なのだ。

僕も、段々、見辛くなってきたので、白い杖を持たねばならないかも知れない。

白い杖と点字ブロックのことを知らない人が案外に多い。

考えてみれば、小中高の時代に、そんな教育を受けたことはなかった。

それは今も変わらないのだろう。

小学校の中のほんの一時間でもいいから、白い杖を持った人を見たらどうすれば良いか、点字ブロックは何のためにあるのかを教える授業を組み入れるだけで、かなり変わるのだろうが…。自動車教習所での実習の中に、老人や子供を見たらということだけでなく、白い杖を持った人や車いすに乗った人を見たらという内容を入れるだけでも、かなり変わるのだろうが…。

みなさん！

白い杖を持った人を見たら、行き先が同じならば、肩を貸してあげてください。

肩に手を置いて歩くだけで、とっても安心するんですよ。

また、黄色い点字ブロックの上に自転車や物を置かないようにして下さいね。

大原へ...2010年03月28日(日)

今日は曇り。

昼から一時雨とか。

三尾の高山寺から神護寺、清滝、嵯峨野を歩く予定にしていたのだが、宿泊した妙心寺北口から栴尾高山寺に行くハマスはルートが変わり、妙心寺は通らなくなっていた。

立命館まで歩いてバスに乗っても良いのだが、傘を持っていないので、雨宿りの出来ない道歩くのはやめて、京都駅から大原行きのバスに乗りました。

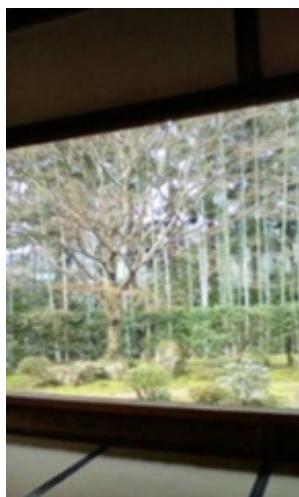
駅前のC3乗り場です。

時間はかかりますが、妙心寺からだとは京阪三条や出町柳に出るより京都駅に出る方が便利なのでね。

【宝泉院・実光院】

バス終点の大原バス停から、なだらかな道を上ります。

10分ほどで三千院の山門に着きますが、それを通り過ぎ、左手にある実光院も越えて、突き当たりの勝林院を左に曲がった所にある宝泉院に入ります。



この襖絵のような庭を眺めながら抹茶をいただきました。（拝観料に入っています。）

お地蔵さんを一体しか持ってきていないので、宝泉院と実光院のどちらに置くのかは決めていませんでした。

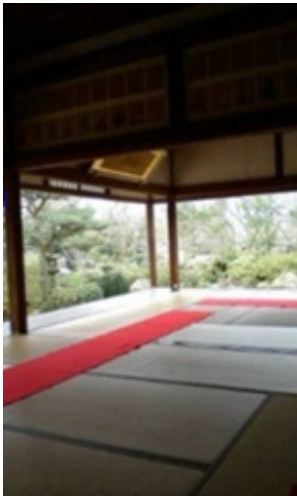
宝泉院のお庭も散策できたのですが、お地蔵さんを置きたい所が見つからず、実光院に行くことにしました。

勝林院には入らず、門前で手を合わせるだけにし、実光院に入ります。

ここも抹茶が出ました。

昔、気功の仲間たちと来たことがあるののに忘れていました。（二服もいただくことになりました。）

でも、三千院とは違い、誰もいません。



写真の通り、部屋と庭を独り占めでした。

庭に降りて回ります。

お地蔵さんを置く場所を見つけました。（庭の奥の方です。）

この地は、声明念仏の発祥地で、今も盛んに行なわれているそうなので、それに相応しいお地蔵さんだと思いませんか？



しだれ桃のお嫁入り...2010年03月25日

しだれ桃はね、花が終わるとね、梅のように枝を短く切るんだけどね、その枝を挿しておく
と根付くこともあって、もう6鉢か7鉢になっているんだけどね、この間、富山の妹夫婦が来てね
、その桃を見つけてね、面白い花やねーって言うから、（社交辞令で）一つ持ってく？って言っ
たらね、いいのー！って、1鉢を車の後に入れて、持って行ってしまいましたよ。

妹もお花が好きで、沢山育てているから、きっと可愛がってくれることでしょう。（僕以上にね

。

）花が終わったら、枝が上に伸びそうなところを少しだけ残して、いっぱい切ってね、と教えて
おきました。



大原と言えは三千院。

三千院と言えば、苔の庭と杉木立の庭、そして往生極楽院の阿弥陀三尊。

更に、最近は庭に置かれた「わらべ地藏」。

来る人、来る人、あっこれこれ！ 可愛いー！と携帯を、カメラを向けていました。

どうも何かのポスターに載ったようです。



春休み終了...2010年03月31日

僕の春休みは終わりました。

春休みといっても仕事の合間に出かけていくという春休みです。

出かけた所は、

- ・ 奈良…長谷寺、東大寺、春日大社、新薬師寺、白毫寺、
- ・ 和歌山…高野山
- ・ 京都…芬陀院、東福寺、詩仙堂、吉田神社、金戒光明寺、永観堂、南禅寺、天授院、三千院、宝泉院、実光院、来迎院
- ・ 滋賀…石山寺、日吉大社、旧竹林庵
- ・ 静岡…清水港、焼津
- ・ 三重…結城神社、阿漕浦
- ・ 愛知…竹島、東山植物園、白鳥庭園、農業センター

まだ他にも行ったかも知れないが、とにかく歩き回り、お地藏さんを沢山置いてきた。

京都は、三尾から嵯峨野、嵐山の方へは行けなかったが、また出かけることにしよう。

夏になったら、一度、曽爾高原に出かけようと思っている。

僕の旅はまだまだおわりそうもない。

ボケましたか？...2010年04月01日

気功教室において必須のアイテムがある。

教室内に穏やかに流れるヒーリングミュージックのCDだ。

先日、一日気功講座に持って行こうと、いつも置いてある中日文化センターのロッカーからケースごと持ち出したまでは良かったのだが、さて、それ以降、何処に置いたやら、行方不明になってしまった。

その一日講座にも持っていけず、二枚程のCDを持って行った。

自宅にも治療院にも無い。

いくつかのバッグを見ても無い。

文化センターにも届けられていない。

無くては仕事にならない。

ましてや新年度が始まるのだ。

幸いなことにパソコンに音楽ファイルとして保存していたので、今日、15枚ほどコピーした

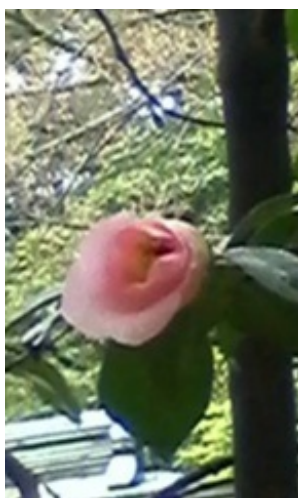
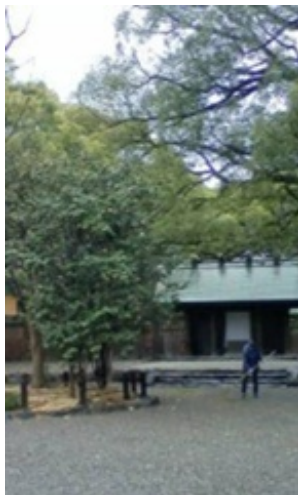
。

ほっ、である。

大事なものを何処に置いたのかを忘れるようでは、和気さん、少しボケてきた？

う〜ん。

かもね。



春の訪れを告げる熱田神宮の太郎庵ツバキ。

二月から四月にかけて、熱田神宮八剣宮の前の植え込みに可憐な花を咲かせます。

岡崎公園のサクラ...2010年04月03日(土)



春の日差しに誘われて沢山の人たちが繰り出し、岡崎公園はサクラと人の満開でした。堤防には菜の花、乙川には花見の遊覧船、公園内は屋台と宴会、春爛漫の岡崎公園でした。



新年度になって始めたこと...2010年04月03日

今日から始めました。

第一第三土曜日の午前中に、名古屋の栄にある中日文化センターに気功を習いに行き出しました。

。僕が1988年の10月から気功を習った林茂美先生の教室に気功を習いに行こうという訳です

。林茂美先生も、77才になられたとかで、人の話によれば、座って話をするばかりで、勉強にはならないということでしたが、実際に行ってみると、なかなかどうして、吸収することばかりでした。

一年間は、月に二回は通うことにしました。

勉強、勉強です。

名古屋城のサクラ...2010年04月05日(月)

地下鉄を上がり、名古屋城東門に向かって歩いて行った。

するとどうだ。

「名古屋城の入場券をお求め方は此処が最後尾です！」

というハンドマイクの声。

そこからは外堀に架かる橋を渡り、石垣の中に入り、東門までかなりある。

2～300メートルはあるか？

入場券を買うのに、こんなに長い列を作って並ぶなんて、長年名古屋城のサクラを見に来てはいるが初めてだった。



城内に入り、僕が最も好きなスポットへ足を運ぶ。

名古屋城に初めて来られる方や余り知らない方は殆ど来ない所なので、入り口の混雑とは全く違って静かだった。

そこへの入り口付近で大道芸のお兄さんが何かをされていて、そのスピーカーの音が聞こえてはいたが...

外堀を見下ろす道を歩いた後、名古屋城の内堀の周りを歩く。

そして内堀に架かる橋を渡って北の門から本丸の庭に入る。

二の丸御殿の建設とやらで、此処のサクラは見えなかった。

南の門をくぐり、元の東門から外に出た。



入場券を求める人の列は相変わらず続き、その状況を知らない人の波が地下鉄からどんでん押し寄せていた。



地下鉄「新瑞橋」を上るとすぐに山崎川だ。

石川橋方面に向かって北に歩く。

石川橋付近のサクラは護岸工事のために切り倒されて、山崎川のサクラもつまらなくなったと思っていたが、なかなかどうして、兩岸から川に向かって垂れ下がるサクラは見事であった。

川には降りれるようになっていて、親子連れ、若いカップル、老夫婦たちが川に降りてサクラや川の流れを楽しんでいた。

なかなか素敵な市民の憩いの場所になっていた。

今日から授業...2010年04月07日

今日から鍼灸、按摩・マッサージの授業が始まります。

僕は名古屋盲学校の高等部専攻科というところで、三年生の鍼灸、按摩・マッサージの治療に関する授業を担当する非常勤講師をしています。

鍼灸、按摩などは、専門の学校で三年間の課程を経て、卒業（単位取得）を条件に国家試験を受け、それに合格してはじめて鍼師、灸師、按摩・マッサージ・指圧師という三つの資格を持つことが出来るのです。

鍼灸やマッサージの仕事をするには、これらの資格（免許）がいる訳ですが、免許を取得したからといって、実際にはなかなか仕事にありつけません。

病院などでは鍼灸の出来る所は殆どなく、鍼灸院なども殆どが個人営業で、新しい人を毎年雇うという状況にはなく、やむを得ず、一人で往診の仕事をしたり、開業したりして収入を得ていくのですが、それはかなり困難な道となります。

普通の仕事でも就職が困難な時代なので、目の見える人の鍼灸への参入が急増し、そのための専門学校も二倍以上に増え、雇う側にしても面倒のかかる視力障害者よりは普通の人の方が便利で、そういう状況を乗り越えていくためには、かなりの腕（技術、能力）を身につけなければならないのです。

僕は、視力障害の彼らに対して、一段上の技を身につけてもらうという使命をもって、今日からの授業に望んでいくのです。



名古屋の朝は雨。

8時半ごろに止んだようだ。

よし、京都に行こう！

きっと雨は大丈夫だ。

今年の京都の桜はまだ見ていない。

今日を逃したら見ることはないだろう。

ソメイヨシノはもう終わりかも知れない。

でも、しだれ桜や御室桜なら大丈夫だろう。

僕は新幹線に乗った。

平安神宮神苑。





やはり、見応えのある桜だった。



平安神宮を出た僕は仁和寺に向かった。

京都で一番遅く咲く桜、御室桜を見たいと思った。

以前は第三日曜あたりが見頃だと言われていたが、ここ十年ばかり、早くなってきているようだ。

満開というには少し早いのかな？

別名、お多福桜といわれる、ポチャっとした背の低い桜（花が低い→鼻が低い）。

曇り空だったので写真が暗くなりました。



仁和寺の隣にある蓮華寺には五体の石仏（五智如来）があり、桜の花に包まれていました。

妙心寺退蔵院...2010年04月11日(日)



仁和寺・蓮華寺を出て妙心寺に戻り、退蔵院に入りました。
この庭にも大きなしだれ桜があるからです。



民衆の心を救うお地蔵さん...2010年04月14日(水)

京都市内のやや西側を南北に伸びる千本通りで、やや北側を東西に走る今出川通りを少し上がった所にある釘抜地蔵。

心の中のトゲ（釘）を抜いてくれるとして信仰を集めている釘抜き地蔵。



なぜ釘なのかは、是非出かけていってお調べ下さい。

本堂の周りには、救いを得た人たちが奉納した釘と釘抜きのセットが板壁中に張られていました。

本堂裏には、撫で地蔵。

例によって、体の調子の悪いところを撫でるとラクになるということで、多くの人たちに撫でられツルツルに光っていました。



庄内緑地公園の八重桜...2010年04月17日(土)



少し遅れて咲く八重桜。

庄内緑地公園は散歩する人、芝生で遊び親子など市民の憩いの広場です。

初夏めいた京都を満喫...2010年04月25日(日)

いつものように朝一番で大心院に和み地蔵を置いた後、京福電車（嵐電）で嵯峨野に出てから松尾の方に行く予定だったのですがやわ時間も早いので保津峡から歩くことにしました。花園からJRで保津峡へ。

久しぶりの良い天気誘われて、沢山の人が歩きに来ていました。



保津峡駅から奥嵯峨まで僕の早足で約一時間。

新緑が眩しい歩きでした。

眼下に見える保津川渓谷と保津川下りの船。



汗は一杯かきましたが、都会を離れて、久々に自然たっぷりの気をいただきました。



嵯峨野の中で僕が一番好きなおところは二尊院だ。
あだしの念仏寺や大河内山荘、落柿舎などには余り寄らない。
二尊院は、釈迦如来と阿弥陀如来の二体を本尊として祭っている。
山門からの参道、そして境内の庭。
広々とした空間にモミジの新緑が鮮やかだった。
ここにもお地藏さんを置きたいのだが…。

体が赤く染まりそう...2010年04月25日(日)

奥嵯峨から嵯峨野二尊院に寄り、亀山公園を歩いて大堰川へ。大堰川は保津川の下流。そして渡月橋を渡り、中之島公園を通過して桂川沿いの遊歩道を歩いて松尾へ。渡月橋や遊歩道から遠くに見える比叡山が美しかった。松尾大社には寄らずに松尾橋を渡って梅宮大社へ。入場料を払って神苑へ。



そこはツツジの花園。
八重桜も咲いていて、花の中に酔いそうでした。

①比叡山

- ・ 東塔→山王院→浄土院→椿堂→にない堂→釈迦堂→みろくの石仏
- ・ 西塔→（ハイキングコース）→横川（横川中堂、元三大師堂）

②大原

- ・ バス停→実光院→三千院→来迎院→音無しの滝→宝泉院→バス停

③三尾

- ・ 高山寺→西明寺→神護寺→清滝ハイキングコース→清滝

④嵯峨野、嵐山

- ・ J R 保津峡→ハイキングコース→奥嵯峨→二尊院→野宮神社→天竜寺
- ・ 渡月橋→渡し船→千光寺→中之島公園→松尾大社→梅宮大社

⑤東山方面

- ・ 清水寺→円山公園→華頂山→知恩院→
- ・ 知恩院→→青蓮院→平安神宮→金戒光明寺→真如堂
- ・ 平安神宮→南禅寺→永観堂→哲学の道→銀閣寺→大文字山

⑥洛西

- ・ 妙心寺→竜安寺→仁和寺→蓮華寺

⑦洛北

- ・ 上賀茂神社→太田神社→愛染倉→京都植物園

⑧鞍馬・貴船

- ・ 叡山電鉄鞍馬駅→由岐神社→鞍馬寺→奥の院→貴船神社→奥の院
などです。

他に是非行って欲しい処は

- ・ 東福寺、フン陀院
- ・ 小野、随心院
- ・ 洛北、円通寺
- ・ 詩仙堂、野仏庵
- ・ 愛宕念仏寺
- ・ 三十三間堂
- ・ 宇治平等院

などかな。

牡丹が咲きました...2010年04月27日(



3月初めに奈良の長谷寺の門前町の花屋さんで買ってきたボタンの花が咲きました。ピンクと黄色の二株買ってきたのですが、ピンクの花だけが咲いたんですよ。黄色は来年までオアズケかな？



先日、アルミボトルを買いました。

LAKENというメーカーのボトルです。

0,75リットル入りです。

これからは水分補給が必要な時季になり、僕は、軽くペットボトル3本くらいは飲むので、これでは少ないのですが、少しでも節約しようと考え、これを買いました。

フタを開けるのも飲むのもラクで、なかなかのお気に入りになりそうです。



名古屋城外堀の東から北にかけて藤棚が続いています。
ゴールデンウィークの時季には見事な花を咲かせ、良い香りを漂わせます。
但し、その分、ハチさんも一杯ですが...



牡丹の花で有名な徳川園まで足を延ばす体力を使いたくなかったので、名古屋城の中の小さな牡丹園に行きました。

赤、白、黄色、ピンク、赤紫などの色とりどりの花が咲いていました。



すぐ近くに、鮮やかなピンクのツツジが咲いていましたが、これも霧島ツツジなのでしょうか。



おはようございます。和気ですが...、霧島はどんな風でしょう？
満開を過ぎたあたりですが、まだ、十分に見えますよ。

朝、大心院に電話したところ、オッケーサインがでたので見に行くことにしました。
大心院の霧島が花が満開に咲いているところをまだ見たことがないんです。

ゴールデンウィークの時季に満開を迎える大心院の霧島ツツジ。
大心院には15年以上も来ているのに、この時季にこれたのは二回目かも。
中庭のこのツツジを見たくて飛んできました。
門を入った所にある西行法師の石像と真っ赤なシャクヤクも見ものです。



洛北・鷹が峰、源光庵には、悟りの窓という円い窓と迷いの窓という四角い窓の二つの窓が並んでいます。

なかなか坐る人はいないのですが、人の込み合わない時季に行って、ゆっくり坐してみるのも良いかと思います。



モミジの名所、鷹が峰、光悦寺。

秋には行列の出来る門からの道も、新緑の時季には人出も少なく、素敵な写真が撮れるんですよ。



5月3日。

愛知県大府市にある大倉公園にはかなりのツツジがあると知って出かけてきました。まだ満開ではなかったけれど、僕の背丈をはるかに超える大きなツツジの刈り込みが見事でした。

ノリタケチャイナの社長さんの別荘だったとか。

大府市はツツジの花を氏の花にでもしているのか、街路樹がツツジで、日の当たっているところは満開で、それは綺麗だったのですが、近くに行列の出来るうどん屋さんがあるということで、気はうどん屋さんに行ってしまう、写真を撮るのを忘れてしまいました。あはは。



大倉公園の帰りに、しあわせ村というところに行きました。

以前は聚楽園と呼んでいたはずなのですが…。

名古屋から岡崎に向かう名鉄電車の中から、山の上に茶色い大仏が見え、一度行ってみたいと思っていました。

行ってみると、大仏だけではなく、プールあり、茶室あり、芝生広場や児童遊園、池にハーブ園、お花畑と、かなり整備された総合公園のようでした。

園内を歩いていると、小学校低学年くらいの男の子が走ってきて、突然僕にしがみつきました。

一瞬、何が起こったのかわからなかったのですが、

「ボク、どうしたの？」

と尋ねても、顔を埋めたままで、一言も発しません。

何か脅えているようなので、抱き抱えて、どうしたの？何かあったの？と聞き返しても、肩に顔を埋めて無言。

〇〇ー！

と、彼を捜しているような女の子の声。

ボクを探してるんじゃない？

そう言って降ろすと、ちょっと駆けていったかと思ったら、すぐに走り戻ってきて、また僕にしがみつきました。

〇〇ー！

の探す声がよく聞こえるようになり、

「ボク、〇〇っていの？」

でも無言。

手をつないで、声のする方に歩いていく。

おねえちゃんらしき人の姿を見つけ、そっちに走っていった。

「お母さーん！〇〇いたよー」

彼は無事に家族の人たちの中に戻っていったのだが、お母さんらしき人が近づいてきて、

「あの子、ハンディがあるものですから…。どうもすみませんでした。」

とのこと。

さっと連れ去られてもわからないよなー。

彼も、家族も、これから大変な日々を送っていくのだろうなー。

彼がどんなハンディを持っているのかは、僕にはわからないけれど、沢山の良心に支えられて精一杯生きて行って下さいね。

彼、もしかして聴覚障害？

だけ？

何故、全く見知らぬよそのおじさん（おじいさん？）にしがみつく？

僕に、家族の下に連れて帰って欲しかった？

いつに日か再び彼に会えるといいな。

ヴィーガン アース デー に参加して...2010年05月04日(火)



5月2日、京都市岡崎公園で行われた「VEGAN EARTH DAY」に参加し、不思議なベジタリアン食を色々食べてきました。



僕にとって美味しいもの、まずいものと色々ありましたが、ベジの本当の意味を初めて知りました。

僕は、ベジタリアンの人は、高血圧や心臓疾患を予防するために肉を食べない、或いは、アレルギーがあるから肉や乳製品を食べないという程度に、即ち、個人的に条件や生き方としてベジになっていると思っていたのです。

勿論、そういう人たちも沢山いるのですが、そうではなく、世界の子供たちの飢餓とそれによる死亡、或いは、地球の環境を守る、温暖化を防止するなどといった地球的、全人類規模での生き方、思想としてのベジタリアンが沢山いるんだということに驚きました。

肉牛一頭を育てるのに用いられる穀物は、人間の消費する穀物の比ではありません。

肉牛一頭を育てるのをやめて、その穀物をアフリカの飢餓（2～3秒に一人が死んでいくほどの飢餓）に苦しんでいる子供たちのところに送ると、どれだけの命が助かるのでしょうか。

南アメリカの熱帯雨林の伐採の7割は牛などの放牧の為に行なわれているとか。

具体的な資料はないので、これから勉強したいと思っていますが、単に個人的な意味でのベジではなく、地球的、全人類規模でのベジならば、僕も仲間に入らなければと思っています。

肝臓を守るための休肝日を設けてお酒を飲まない日を作るように、お肉を食べない日を、せめて週に一度は作ってみませんか？

完全なベジタリアンでなくでも、半ベジ、週一ベジから始めませんか？

世界中の飢えに苦しんでいる子供たちのために。

地球の命を守るために。

そう言えば、仏道の、菩薩行の、最初の教えは「不殺生」だったんですよね。

釈尊さんって、やはりすごい人だったんですよね。

デトックス...体の浄化...2010年05月17日

友達に誘われて、明日一日、断食します。

実は今日の昼に食べただけで、後は固形物は食べていません。

野菜ジュースを飲んでいきます。

今夜、ミント系のハーブティを飲み、明日の朝は生理食塩水（約1リットル）を飲みます。

それで下痢を起こし、腸を洗い流し、その後は一日、レモンとメープルシロップの入ったお水を、随時、2リットルほど飲むんだそうです。

その方は、金曜の夕方からこ固形物を口にしておらず、土、日、月と断食三日目だそうです。

僕は一日だけだよ。

体にどんな変化が起こるかは、また報告しますね。



雨上がりの湿度の高い、そして夏日（25℃以上）の、少し歩くと汗の出てる日でした。今日の機会を逃しては、今年のバラは見えないと思い、さっさと行ってきました。



沢山の人がシャッターを切っていました。

アマリリス...2010年05月28日



今年も咲いてくれました。
真っ赤なアマリリスです。
小さな鉢なのにありがとう。